

鈴鹿ベイロータリークラブ

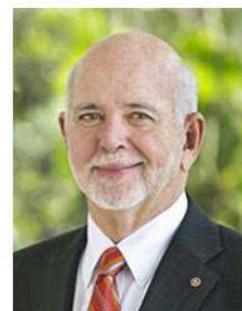
例会日 木曜日 18:30~19:30
例会場 鈴鹿サーキットホテル
事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770



Rotary 

Be the
Inspiration

インスピレーションになろう



第1322回 例会報告 (2019年3月7日)

創立記念例会

会長・幹事

■司会 / 川岸憲博 SAA ■ロータリーソング / 君が代、奉仕の理想

■会長挨拶 / 平野泰治 会長

本日は、29回目の創立記念総会です。記念の卓話を、宮崎幹事にさせていただきます。私たちロータリアンが知っておくべき、グローバルな話を聞かせて頂けると思います。宮崎さんよろしくお祈りします。

先日は、松の苗木の植樹に参加頂きありがとうございました。鼓ヶ浦中学校と白子小学校の卒業記念植樹でしたが、本日は、午前中、白子中学校の卒業式に出席してきました。卒業生が337人、10クラスという相変わらず、生徒数が多い学校です。卒業式は、何度出席しても感動します。自分の頃も思い出します。ですが、当時と随分違うのが、読み方が分からない卒業生のキラキラネームと、担任の先生の泣く姿です。男性も女性も何人もの方が泣いていました。私たちの時代では考えられません。

さて、皆さんに本市の幹線道路の整備について報告します。2月17日には、鈴鹿市から以南の中勢バイパスが開通しました。また、3月の17日には、第二名神高速道路の、鈴鹿区間が開通し、出入り口としてスマートICも出来ます。ところで、鈴鹿市は道路整備が遅れていることで知られています。三重県には、10地域に三重県建設事務所があります。北から桑名・四日市・鈴鹿・津・伊賀・松坂・伊勢・尾鷲・志摩・熊野です。この建設事務所事の県の公共事業予算を比較すると、ずっと鈴鹿は、最下位かその次です。先日はその理由を聞く機会がありました。鈴鹿市の道路整備が遅れるのは、地権者の皆さんの協力が得られず用地買収が進まないことが原因だそうです。用地取得さえできれば、工事は順調に進むとのことでした。ちょっと悲しい話でした。幹線道路の整備は、災害対応にも必要です。鈴鹿市のこのような状況を変えるためにも、私達の社会貢献の姿をしっかりと皆さんに示していきたいと思っております。

■幹事報告 / 宮崎弘夫 幹事

- ・東日観光社から2019年国際ロータリー年次大会の案内が届いています。必要な方は幹事までお申し出ください。
- ・鈴鹿市社会福祉協議会からボランティアセンター通信が届いています。
- ・今年のロータリーデー開催日が4月6日(土)に決まりました。詳しくは次週の理事会で決定後にお知らせします。

■出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
3月7日	13名	10名	3名	69.23%

2週間前の補正後出席率 13名中 10名 69.23%

■ニコボックス

森田英治……しその種まき63枚終了。やったね。千代崎中学校卒業式、感動の時間がすごせました。

大泉博典……創立記念おめでとうございます。

平野泰治……宮崎幹事卓話楽しみにしています。よろしく。

川岸憲博……何はなくとも、とりあえず。

磯部弘生……松の記念植樹ご苦労様でした！

遠藤龍夫……29回目創立記念例会おめでとうございます。

宮崎弘夫……鈴鹿ベイRC29才おめでとう！記念すべき日に卓話させていただきます。よろしくをお願いします。

中村 悟……29回目の設立記念例会、早いもので私も来年で入会30年を迎えます。

■例会 / 創立記念講演

鈴鹿ベイロータリークラブが行ったグローバル補助金事業は、タイ国第3350地区との共同プロジェクトで基本的教育と識字率向上に沿ったプロジェクト事業です。タイ国内全土の、特に田舎の小学校88校に識字図書等の教材支援事業、そして識字を指導する教員指導プログラム事業で総予算は260万バーツ日本円で約980万円位です。今回の事業方法の大きな特徴としては、第2630地区内の3つのクラブ、美濃加茂ロータリークラブ・多治見リバーサイドクラブ、そして鈴鹿ベイロータリークラブがそれぞれ1,000ドルの資金を出しあって行った、共同体事業です。

今回の訪問を通してロータリーの支援システムの素晴らしさを改めて感じました。相手クラブと一緒にあって共に未来のために苦労して事業を進めること、そして現地の方々が心から喜んで頂く姿にとっても感動しました。

ちょっとだけ良い気分になること、色々な人に出会い語り合うことに大変意義があると思います。世界には私たちの支援を待っている人たちが大勢います。補助金ありきではなく、まず人や地域への愛情をもって素晴らしい国際奉仕活動を見つけて頂き、その愛情を世界に発信して欲しいと思います。

